



# 学校だより 青い鳥

平成29年度3月号  
さいたま市立上落合小学校  
平成30年3月1日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381  
http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/ E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



## 春への憧れ

校長 藤澤 太郎

校舎の南側のスイセンが早くから咲き、積雪するまでの間ずいぶん長もちしました。新鮮な白い花卉の若々しさは、見る人を清廉な心もちにさせてくれました。月がかわってからは、じわっと椿、赤梅、白梅がはじまりました。皆もっている春への憧れがかたちになって現れてきました。

今年度の本校の教育活動に対し、地域・保護者の皆様をはじめ、後援会やPTA（可憐なピオラをありがとうございました。最近ずっと満開です。）の皆様から、ご支援・ご協力をいただきましたことに御礼を申し上げます。おかげさまで、教育活動全体につきましては概ね順調とみております。引き続きよろしく願いいたします。

6年生の皆さん、卒業おめでとうございます。この学年のよさは、「穏やかな良い子」であることです。どんなところが？と聞かれたら、それは「おれがおれが」ではなく、人に対する思いやりの気持ちがあること。そして、自分の目標に向かって黙々と努力する姿勢をもって見ることが出来ます。特に、「思いやり」ということでは、例えば委員会活動等で、同じ学年の仲間、後輩や先生達に自然に明るく接しながら、課題をしっかりととらえ、チームワークを大切にしている主体的な姿が見られたことです。思いやりのかたちとして一つのモデルを示してくれたと思っています。そして、その委員会活動の結果は大変立派なものとなりました。（保健委員会：校内けがマップの制作と全校に発表 など）授業中も同じことが言えます。各教科の授業を展開する中で、「交流」という、仲間と意見交換する場面では、相手の考えを理解・尊重しつつ、自分の人間性を発揮するようなよい話し合いが身に付いています。そして、授業のまとめではプレゼンして盛り上がり、とてもよい表情、よい調子で授業を進めることができています。今後も、このかっこいい資質・能力を大切にしてほしいと思います。

さて、毎年3学期に、全校児童に伝えていることがあります。それは、自分自身の成長を確認してほしいということです。子どもの背が伸びたり感性が豊かになったりすることは、一日として止まることはありません。それが一年分となると、本人も周りも、成長したことがハッキリと分かります。（どうでしょう？）学年によって、子どもによって周りから気付くポイントは決まってくるようですが、本人が感じるポイントは周りとはまた別のことの方が多いということもあります。周りは、「最近あいさつがしっかりして、服がたためるようになったね！」と言っているのに、本人は、「いや、まだまだ、次のボス面をクリアするまで成長したとは言えない！？」とかで、これは一つの例ですが、子ども（本人）の心には、日常生活習慣や学力という成長よりも、感覚的に掴みやすいもの、手に取って具体的に分かるものの方が理解しやすいのかも知れませんね。ところで、教員も保護者も、着実に年を重ねています。子どもと一緒に成長しましょうなどと言う人がいます。そうだと思いますが、大人からするとなかなか子どもの心が分からない時があるのも事実で、分かったと思うと次の日には変わっていたりして、だからこそ、子どもが自分のことを自分で確認しておく必要があるのだと考えています。

大人は大人なりに、子どもは子どもなりに4月への期待と不安が交錯する上に、春が来たことへのよろこびが重なりますので、（3月は）とてもとても複雑な気持ちになりますね。卒業生には、がんばってもらって、良い手本を見せて欲しい。在校生には、新しい1年生をきちんと迎えらるだけの資質を身に付けて欲しい。と、願うばかりです。

## 学校教育目標

あかるく なかよく たくましく